



「ゴールドウインです、すごくいいポジションにいた生活をやめ、瓦屋に。そして今、新たな夢に進む。また、毎年トライアスロンにも挑戦している本田さんに話を伺う。」

「毎日会社に行ってコーヒー飲んで…。そんな姿を息子に見せたくなかった。」

「ゴールドウインは、いい会社です。人材に時間とお金をかけてくれた。育成する仕組みがあった。夏休みは高瀬神社等で合宿。そこでマネジメントを学んだ。」

何を未来に残すのか

株式会社ゼンエモン 本田 徳成

No.58

係長クラスから、自分のセクションは自分でマネジメントする。リアルな経営計画を立てる。それをすること、みんなの頭の中に目標が入り共有できた。

これを自分の名前だけで、もう一度やってみたかった。それもあつて辞めた。

「夏は暑い、冬は寒い。カッパを着る仕事でしたかったんです。」

瓦屋を始める。本当は営業なんで、現場に行く必要はない。でも、現場で一緒にやりた

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



しげる店長

古く瓦を捨てる、新しい瓦を屋根に上げる。その一番キツイところを若い職人と一緒にする。

今日はどうだった。明日はどこまでやる。明日の段取りがいついた時点で解散。仕事は段取り。

これはゴールドウインの経験が活かしている。

リーダー格には見積りの出し方も教えた。そのことでコスト計算をして仕事をするようになる。

必要な用具に関しては、すぐに揃える。これが大事なこと。原価管理とマネジメント。

そして、最も必要なのは「人」。目標が見えて、やれない時はどうすればいいかをみんなが思ってくれること。

目標を設定するため、報告をちゃんと聞いてあげる。その中で、会社でできることを全力でやる。

一度目の失敗は怒らない。自分で決断してチャレンジする勇気を伝える。問題がでたら、細分化して説明し、みんなにシ

「優秀な人はいらぬ。みんながまとまることが必要なんです。」

得意なところを伸ばしてあげる。それは、認めてやればいい。

まるで、本田さんの職場は、起業塾のような人材育成の場だ。

次の夢は介護の世界。今の世の中を作ったくられたのは、自分の親の世代。

「みんな自宅で、迷惑かけずに死にたいと思ってるはず。これを実現させたい。」

「介護の仕事、仕事がないと困っている若者にさせたい。」

そのためには、若者に結婚して子供をもつても生活できるくらいのお金の循環を作らなければならぬ。

今、宮島に古民家が余っている。これを利用してきないか…。

お年寄りのニーズに対応する。それを若者がする。それで若者が生活できる。そのマッチングをする仕事をやりたい。

お年寄りの持っている知恵を若者に引き継いでほしい。

日本は、道徳の国。「なんせ、まじめにいけ」とじいちゃんに教わった。これを子供に伝えたい。いろんな意味で、親の世代に返さないといけない。

戦争に負けた国なのに、食べることに困ったこ



屋根工事 / かわら屋根工事
株式会社ゼンエモン

〒939-0123
富山県高岡市福岡町西川原島 8 4
TEL 0766-64-1277

とがない。みんなががんばって働いていた。

「何を残していくかだと思えます。」

「大学を出た若者が、社会ですることがないって、これいかにですよ。何でもしたらいい。農業でも介護でも、汗かいて働けばいい。」

働く場所を作った方がいい。働きたい人はいっぱいいる。

若者が、お年寄りを大事にしている姿勢を子ども達にみせたい。

そんな本田さんの夢がカタチになる頃、もう一度取材したいと思えます。

日本で余剰にあるもの。それは若者のエネルギーかも。



店長の一言

小矢部市シンボルキャラクター「メルキュくん」グッズの販売
地元のお店紹介・特産品のプレゼント企画を随時開催

Oyabe Local SHOP



http://www.startaro.com/shop/

小矢部の人と人、人と企業、企業と企業の架け橋
北陸の十字路からの情報発信システム

Oyabe Local SNS



http://sns.startaro.com/

口コミ情報、おもしろ情報を集めたメルマガ
「ありがとうプロジェクト」スタートしています

Oyabe Local Mail



http://oyabelocalmail.blog27.fc2.com/